

(広報資料)

令和4年8月2日  
地方独立行政法人京都市立病院機構  
(担当 京都市立病院事務局 311-5311)  
(担当 京都市保健福祉局医療衛生推進室医療衛生企画課  
電話 075-746-2866)

## 地方独立行政法人京都市立病院機構の令和3年度決算概要について

京都市立病院（以下「市立病院」という。）及び京都市立京北病院（以下「京北病院」という。）は自治体病院として、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）を含む感染症医療、救急医療やへき地医療などの政策医療をはじめ、市民の生命と健康を守るため、医療の質及び患者サービスの向上に取り組んでいます。

令和3年度は、市立病院においては、新型コロナ病床確保等のため一般病床を縮小した中で、入院単価が前年度比で大幅増したことにより、医業収益は大きく回復しました。また、京北病院においても、患者数は減少したものの、外来単価の増に伴う外来収益の増等により、医業・介護収益は改善しました。

医業収益の増に伴い材料費や経費は増加したものの、新型コロナ医療機関病床確保等支援事業費補助金や運営費交付金の増が寄与し、法人全体の純損益は、8億67百万円と過去最大の黒字（令和2年度は14億円の赤字）となり、4期ぶりの黒字決算となりました。

令和4年度においては、新型コロナによる影響が継続している中ではありますが、更なる経営改善に向け、新入院患者数の増加等に法人の総力を挙げて取り組むとともに、府内トップレベルで入院患者を受け入れてきた新型コロナ対応についても、引き続きしっかりと取り組んでまいります。

### 1 市立病院

収入については、新型コロナ病床確保（令和3年9月から20床を36床に増床）等に伴い一般病床を縮小した病床運用（△65床）となったものの、入院単価の大幅増（79,609円（前年度比+5,772円））により、医業収益は、173億83百万円（前年度比+11億94百万円）となり、また、新型コロナ医療機関病床確保等支援事業費補助金の増（18億9百万円（前年度比+12億23百万円））、更には、京都市からの運営費負担金・交付金の増（15億68百万円（前年度比+1億6百万円））により、収入合計は212億80百万円（前年度比+25億34百万円）となりました。

支出においては、医業収益の増と連動した材料費、経費の増により、支出合計は204億7百万円（前年度比+3億45百万円）となりました。

この結果、市立病院の収支としては、経常損益8億73百万円で、臨時損益△47百万円を反映させた純損益は8億26百万円の黒字（前年度比で21億46百万円の収支改善）となりました。

令和4年度においては、引き続き、医療の質や患者サービスの向上を図るとともに、更に高度かつ専門的な医療を提供するなど、中期計画の取組を着実に推し進めることに加えて、ポストコロナも見据え、更なる経営改善に向け、集患対策（地域の医療機関や患者への働き掛け、広報活動など）や病床の有効活用等により、新入院患者数の増加や入院単価の維持に重点的に取り組んでまいります。

また、府内トップレベルの新型コロナ対応（令和4年6月末現在 入院受入患者数833人）についても継続して取り組みます。

## 2 京北病院

収入においては、病床稼働率の低下により入院収益が減少したものの、外来単価の増による外来収益の増（9,225円（前年度比+1,174円））及び訪問看護事業の延べ患者数の増による同事業収益の増によって、医業収益は4億52百万円（前年度比+15百万円）となりました。また、介護保険事業収益はほぼ横ばいであったものの、運営費負担金の大幅増（前年度比+83百万円）及び補助金の大幅増（住民向けコロナワクチン接種支援金）により収入合計は9億95百万円（前年度比+1億16百万円）となりました。

支出は、前年度とほぼ同額となり、支出合計は9億54百万円（前年度比△1百万円）となりました。

この結果、京北病院の収支としては、経常損益41百万円で、臨時損益はなく、純損益41百万円の黒字（前年度比で1億17百万円の収支改善）となりました。

令和4年度においては、引き続き地域包括ケアシステムの拠点施設としての機能を発揮し、在宅医療の強化や入院患者の確保等の収益向上に取り組むとともに、各種支出の削減など効率的な運営に努め、更なる収支改善を目指します。

## 令和3年度 京都市立病院機構決算

	増△減
収益的収入	222億74百万円 ( 26億49百万円 )
収益的支出	213億60百万円 ( 3億44百万円 )
当年度経常損益	9億14百万円 ( 23億05百万円 )
当年度純損益	8億67百万円 ( 22億63百万円 )
( <参考> 令和2年度 △13億96百万円 )	

(注) 市立病院及び市立京北病院により構成

### 第1 市立病院

#### 1 業務量

区 分		令和2年度	令和3年度	増△減	
入 院	一 般	診療日数	365 日	365 日	0 日
		稼働病床数	536 床	536 床	0 床
		稼働病床利用率	73.0 %	72.7 %	△0.3 点
		延べ患者数	142,863 人	142,235 人	△628 人
		1日平均患者数	391 人	390 人	△1 人
		実患者数	11,914 人	12,451 人	537 人
		平均在院日数	11.0 日	10.5 日	△0.5 日
結 核 ( 新 型 コ ロ ナ )	診療日数	365 日	365 日	0 日	
	稼働病床数	12 床	12 床	0 床	
	延べ患者数	※1 1,097 人	※2 1,962 人	865 人	
外 来	診療日数	243 日	242 日	△1 日	
	延べ患者数	259,803 人	276,435 人	16,632 人	
	1日平均患者数	1,069 人	1,142 人	73 人	

※1 令和2年度：結核(55人)、Covid-19(疑似含む)(1,042人)

※2 令和3年度：結核(0人)、Covid-19(疑似含む)(1,962人)

## 2 財務状況

項目		年度	令和2年度 (消費税抜額)	令和3年度 (消費税抜額)	増△減
			億 百万円	億 百万円	億 百万円
経 常	収 入	営業収益	185,68	210,72	25,04
		医療収益	161,89	173,83	11,94
		入院収益	104,61	113,27	8,66
		外来収益	53,82	56,92	3,10
		その他医療収益	3,47	3,64	17
		運営費負担金収益	13,97	14,91	94
	損 益 出	運営費交付金収益	21	34	13
		補助金等収益	8,90	20,55	11,65
		資産見返補助金戻入等 (うち資産見返運営費交付金戻入)	59 ( 0 )	97 ( 2 )	38 ( 2 )
		その他営業外収益	1,35	1,65	30
		計	187,46	212,80	25,34
		営業費用	190,51	193,86	3,35
		医療費用	185,14	188,72	3,58
損 益 出	支 出	給与費 (うち退職給付費用)	88,91 ( 4,45 )	89,85 ( 4,39 )	94 ( △ 6 )
		材料費	49,53	51,03	1,50
		経費その他	35,18	37,42	2,24
		減価償却費	11,52	10,42	△ 1,10
	一般管理費	5,37	5,13	△ 24	
	給与費 (うち退職給付費用)	4,43 ( 27 )	4,14 ( △ 3 )	△ 29 ( △ 30 )	
	経費その他	86	91	5	
	減価償却費	8	8	0	
	営業外費用	10,10	10,21	11	
	財務費用	89	84	△ 5	
	その他	9,21	9,37	16	
	計	200,62	204,07	3,45	
	経常損益		△ 13,15	8,73	21,88
臨時損益		△ 5	△ 47	△ 42	
当年度純損益		△ 13,20	8,26	21,46	
(参考)資金残高		4,82	5,55	73	
資本的 収支	収入	25,95	6,81	△ 19,14	
	(うち運営費交付金)	( 0 )	( 1,16 )	( 1,16 )	
	支出	19,58	18,91	△ 67	
	差引	6,38	△ 12,10	△ 18,48	

注 各項目で単位未満四捨五入しているため、合計と内訳は必ずしも一致しない。

## 3 借入金の状況

年度 用途	令和2年度末	令和3年度中増△減			令和3年度末
	借入残高	借入額	返済額	差引	借入残高
	億 百万円	億 百万円	億 百万円	億 百万円	億 百万円
建設・医療機器購入等	71,26	5,12	11,90	△ 6,78	64,48
特別減収対策	20,87	0	0	0	20,87
短期借入金	7,00	37,60	44,60	△ 7,00	0

第2 市立京北病院

1 業務量

区分		令和2年度	令和3年度	増△減	
入院 院	一般	診療日数	365 日	365 日	0 日
		稼働病床数	38 床	38 床	0 床
		稼働病床利用率	52.5 %	50.1 %	△ 2.4 点
		延べ患者数	7,281 人	6,946 人	△ 335 人
		1日平均患者数	20 人	19 人	△ 1 人
入 所	介護老人 保健施設	稼働日数	365 日	365 日	0 日
		稼働居室数	29 室	29 室	0 室
		稼働居室利用率	80.9 %	82.6 %	1.7 点
		延べ入所者数	8,565 人	8,747 人	182 人
		1日平均入所者数	23 人	24 人	1 人
外 来		診療日数	243 日	242 日	△ 1 日
		延べ患者数	23,493 人	22,855 人	△ 638 人
		1日平均患者数	97 人	94 人	△ 3 人
診 療 所		診療日数	243 日	242 日	△ 1 日
		延べ患者数	648 人	458 人	△ 190 人
		1日平均患者数	3 人	2 人	△ 1 人
訪 問 看 護		診療日数	243 日	242 日	△ 1 日
		延べ患者数	6,018 人	6,611 人	593 人
		1日平均患者数	25 人	27 人	2 人
通 所		実施日数	243 日	242 日	△ 1 日
		延べ利用者数	3,006 人	3,294 人	288 人
		1日平均利用者数	12 人	14 人	2 人

2 財務状況

項目		年度	令和2年度 (消費税抜額)	令和3年度 (消費税抜額)	増△減
			億 百万円	億 百万円	億 百万円
経常	収	営業収益	8,67	9,88	1,21
		医療収益	4,37	4,52	15
		入院収益	2,25	2,13	△ 12
		外来収益	1,89	2,11	22
		診療所収益	3	2	△ 1
		訪問看護事業収益	13	18	5
		その他医療収益	7	7	0
		介護保険事業収益	2,03	2,11	8
		施設サービス事業収益	1,23	1,28	5
		在宅サービス事業収益	80	83	3
	入	運営費負担金	1,97	2,81	84
		運営費交付金	5	5	0
		補助金等収益	14	28	14
		資産見返補助金戻入等	11	11	0
		その他営業収益	0	0	0
		営業外収益	11	7	△ 4
		運営費負担金	3	2	△ 1
		その他営業外収益	8	4	△ 4
		計	8,79	9,95	1,16
損益	支	営業費用	9,28	9,27	△ 1
		医療費用	6,67	6,70	3
		給与費 (うち退職給付費用)	4,53 ( 18 )	4,58 ( 20 )	5 ( 2 )
		材料費	41	40	△ 1
		経費その他	1,33	1,38	5
		減価償却費	40	35	△ 5
		介護費用	2,60	2,56	△ 4
		給与費 (うち退職給付費用)	1,95 ( 7 )	1,90 ( 7 )	△ 5 ( 0 )
		材料費	4	4	0
		経費その他	49	52	3
	出	減価償却費	13	11	△ 2
		営業外費用	27	27	0
		財務費用	5	4	△ 1
		その他	22	23	1
		計	9,55	9,54	△ 1
		経常損益	△ 76	41	1,17
		臨時損益	0	0	0
		当年度純損益	△ 76	41	1,17
		(参考)資金残高	23	45	22
資本的収支	収入	22	5	△ 17	
	支出	83	62	△ 21	
	差引	△ 61	△ 57	4	

注 各項目で単位未満四捨五入しているため、合計と内訳は必ずしも一致しない。

3 借入金の状況

年度 用途	令和2年度末	令和3年度中増△減			令和3年度末
	借入残高	借入額	返済額	差引	借入残高
	億 百万円	億 百万円	億 百万円	億 百万円	億 百万円
建設・医療機器購入等	1,77 (8,39)	5	56	△ 51	1,26 (8,39)

(注) ( ) 書きは、市立病院からの借入金で外数

## 地方独立行政法人京都市立病院機構の決算

- 自治体病院として、**救急医療やへき地医療等の政策医療の提供をはじめ、医療の質・患者サービスの向上を推進**

- ・ 市立病院におけるがん診療機能の向上など医療の高度化
- ・ 京北病院における地域包括ケア病床の運用や在宅医療への注力 など

### ＋ 令和3年度も、新型コロナ入院患者にしっかりと対応

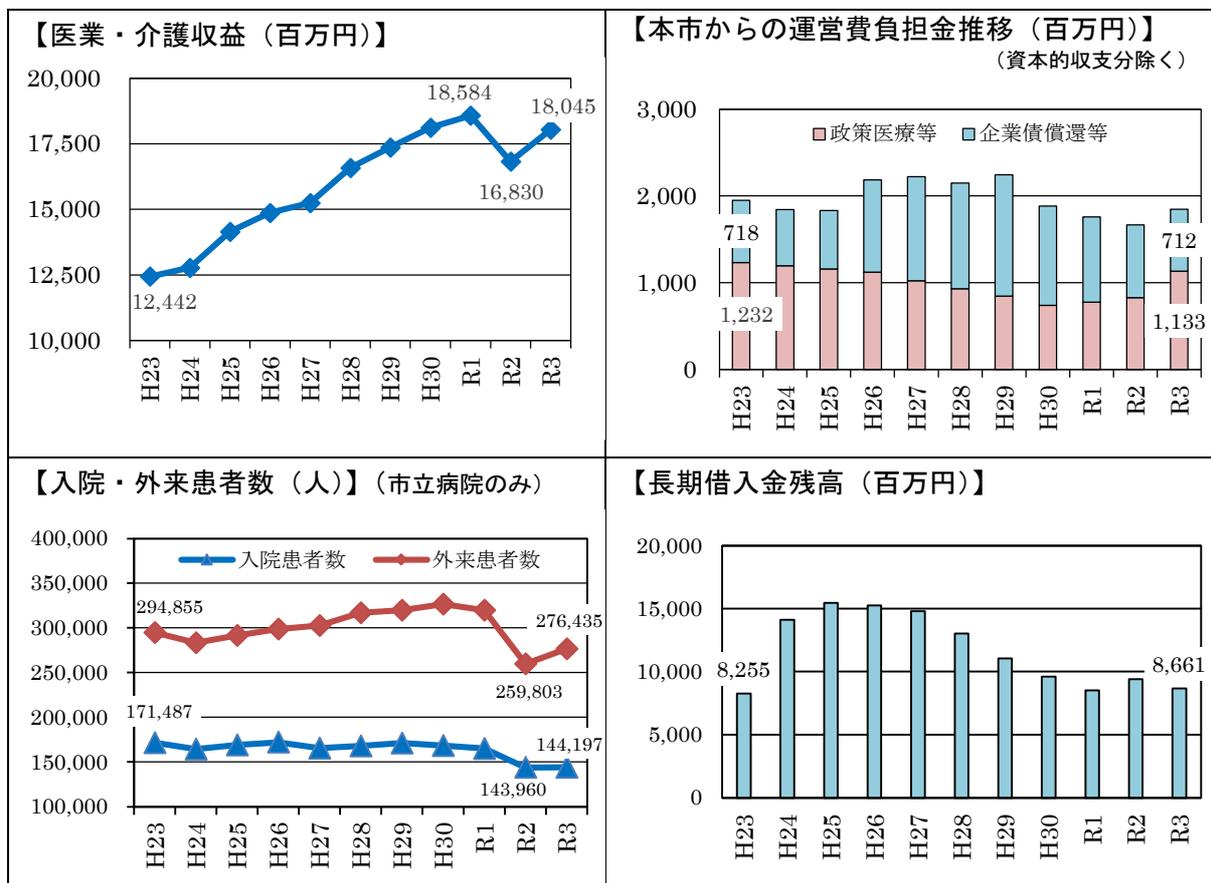
- ・ 府内トップレベルの入院患者の積極的な受入れ (R2.1~4.6実績：833名)
- ・ 新型コロナ専用病床の確保 (36床)、院内PCR検査実施体制の確保 など

- 市立病院は入院単価の上昇で医業収益が約12億円増、京北病院も医業・介護収益が23百万円増

- 新型コロナ病床確保の補助金等を確保し、法人全体では過去最大の8億67百万円の純損益黒字

**➡ 令和4年度は、コロナ患者の受入対応を継続しつつ、経営改善に向け、新入院患者の増加等の取組を進める。**

### 地方独立行政法人化以降の状況



(四捨五入のため、数字に若干の差異が生じる。)